

西仲町の

子育て稲荷

平成九年二月五日号

中央町三丁目（西仲町）の大運寺だいうんじに子育て稲荷いなりがあります。

病気の子どもを持った親が、このお稲荷さんへお参りするとたちまち病気が治ると伝えられています。

今回は、子育て稲荷のお話を紹介します。

昔、大運寺のお坊さんのまくら元へ毎晩のようにあらわれる一匹のキツネがいました。そして、キツネは「和尚様、起きてください。私をお稲荷さんに祭ってください」と言いま

す。そこで、和尚

さんは、どこから、
どういふわけで来たのか聞きました。

「私は、京都の伏見稲荷の使いです。

『東国に病がはやり、子どもが育た

なくて困っているところがあるので、

お前はそこへ行って

子どもを守ってやりなさい』と言われてやってきました」と答えました。和尚さんは、キ

ツネは人間をだますのが上手なので、伏見稲荷の使いだという証拠があるのか尋ねると、キツネは金のはしを見せました。

早速、伏見稲荷へ問い合わせてみると、確かに金のはしが一ぜんなくなっているということでした。



そこで、和尚さんは、境内へほこらをつくり、キツネを子育て稲荷大明神として祭りました。その後、吉原では、やはり病で子どもが死ななくなったそうです。



キツネが伏見稲荷からもってきたという金のはしと、その事実が記されている掛け軸が、今でも大運寺にあります。



なかだ
中田 廣 さん (西仲町)

大正から昭和の初めころまでは、由比や蒲原の方からも、我が子の無病息災を祈願するため、たくさんの方がお参りに来て、にぎやかだったようですね。また、十年ほど前までは、毎年二の午の日にのぼりが立てられて、お祭りが盛大に行われていました。

現在では、お祭りもなくなりひっそりとしています。今でも、夜泣きに効くといっている、なぜか人目につかないよう、朝方か夜に子どもを連れてお参りに来る人もいます。

吉原地区で行っている史跡めぐりで、このお稲荷さんをコースの中に入れるなど、吉原地区の大切な史跡として後世に伝えていきたいと思っています。